

(事業計画書様式1)

1 施設概要

公園名	海の公園
所在地	横浜市金沢区海の公園 10
公園面積、公園種別	470,155 m ² 、総合公園
主な施設	人工砂浜・親水護岸、なぎさ広場、ビーチバレー・ビーチスポーツ場、健康歩道、犬の遊び場、バーベキュー場、管理棟、休憩所、案内所、ウインドサーフィン艇庫、駐車場等
特徴	<p>横浜市内で唯一海水浴ができる砂浜（人工海浜）を有する公園です。砂浜の延長は約1 kmあり、毎年夏には多くの海水浴客が訪れるほか、アサリ等の多くの貝類が生息しているため、春先には潮干狩り等で賑わっています。また、マリンスポーツの場としても人気を集めており、園内にはウインドサーフィン、SUP等の艇庫があり、砂浜にはビーチバレー場、ビーチスポーツ場が設置されています。そのほか、なぎさ広場の芝生のグラウンドやバスケットコート、園路のジョギングコース等様々なスポーツ施設を有しています。</p> <p>公園開設当時に植樹された樹木が豊かに成長し、青い海に鮮やかに映える豊かな緑を形成し、多種の鳥や昆虫の生息場所にもなっています。樹林地は、散策や休憩に最適な緑陰を提供し、市民の憩いの場となっています。</p>
公園開園日	1988年（昭和63年）7月2日

2 指定管理者概要

指定管理者名	公益財団法人横浜市緑の協会
代表者名	理事長 福山 一男
所在地	横浜市中区日本大通 58
指定管理期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日まで（5年間）
現指定管理者管理運営開始日	平成27年4月1日

(事業計画書様式2)

1 公園の管理運営にあたっての基本方針（ビジョン）

海の公園の特性を活かし、当団体が掲げるビジョン（管理期間中の目標）の達成に向けた着実な管理運営に取り組みます。

当公園の管理運営においては、豊かな自然と地域の人々をつなぎ、次の世代へつながる公園を目指すため、「海で遊び、海から学び、海とふれあう」を基本方針（ビジョン）とします。

2 基本的な管理運営方針（ミッション）

指定管理者に求められる基本的役割を果たし、かつ上記ビジョン実現のため、公園の特性を踏まえた4つのミッション（果たすべき役割）に取り組みます。

- ・ミッション1 誰もが海に親しみ楽しめるレクリエーションの場を提供します。
- ・ミッション2 海や緑を身近に感じる環境教育と環境保全を推進します。
- ・ミッション3 世代を越えて、人と人をつなぐ場をつくります。
- ・ミッション4 いつでも安全・安心な海の公園を提供します。

3 運営業務の実施計画・取組

今年度の管理運営方針を実施するための取組

- (1) ミッション1 「誰もが海に親しみ楽しめるレクリエーションの場の提供」
 - ・潮干狩りや海水浴等のレクリエーションを快適に楽しむためのサービスの提供
 - ・海辺や広場を活用したスポーツ振興
 - ・「海とのふれあいセンター」を環境・憩い・観光のスペースとして活用
- (2) ミッション2 「海や緑を身近に感じる環境教育と環境保全の推進」
 - ・海の環境を学べる各種講座の実施
 - ・ビーチクリーンの支援等、海辺の環境を保全する取組
 - ・ガーデンネックレス横浜 in 海の公園 ～海の公園花咲くプロジェクト～
- (3) ミッション3 「世代を越えて、人と人をつなぐ場づくり」
 - ・公園の資源を活用した様々な市民連携イベントの実施
 - ・企業・団体等多様な主体・世代との協働
 - ・ボランティア活動の支援強化
- (4) ミッション4 「いつでも安全・安心な海の公園の提供」
 - ・海辺の安全・安心の徹底
 - ・消防等の関係機関や市民とともに実施する津波避難訓練等の災害対策
 - ・海の公園特有の利用に関するマナー向上
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策の徹底

4 管理運営体制、人員の配置と研修計画

(1) 管理運営体制

職種	人数(名)	役割
園長 (施設長)	1	責任者
副園長 (副施設長)	1	副責任者
運営管理スタッフ (職員)	1	運営管理
運営管理スタッフ (パート)	3	運営管理
施設管理スタッフ (職員)	1	施設管理・園地管理
施設管理スタッフ (パート)	1	施設管理・園地管理

(2) 勤務体制

職種	主な業務内容	勤務体制(目安)
園長	公園管理統括、事業・予算管理	週 5
副園長	統括補佐、施設管理、運営業務等	週 5
運営管理スタッフ (職員)	運営事務、自主事業、広報等	週 5
運営管理スタッフ(パート)	運営事務、自主事業、広報等	週 4
施設管理スタッフ (職員)	園地管理、建物管理等	週 5
施設管理スタッフ(パート)	園地管理、建物管理等	週 3

・勤務体制は3～5名を基本とし、繁忙日は増員する等、柔軟に対応します。

(3) 人員体制の考え方・職能等

- ・園長は、公園管理の経験を有する総合的な責任者であり、施設の計画的な管理運営やスタッフの指導育成等、公園全体をマネジメント
- ・副園長は、業務執行で園長を補佐し、管理運営業務、施設管理業務を実施
- ・運営管理スタッフは、運営事務、自主事業、広報を担当
- ・施設管理スタッフは、園地や施設の維持管理を担当
- ・防災や救急対応力発揮のため、園長は防災士、副園長は上級救命講習、スタッフは普通救命講習を修了

(4) 職員の人材確保及び人材育成・職員の研修方針及び計画について

- 「公園管理のプロを育てる」を到達目標に、人材育成に取り組みます。
- ・研修は、①利用者対応、管理運営に関すること、②園地管理に関すること、③管理職の業務に関することをテーマに実施
 - ・スタッフ向け朝礼時研修の実施
 - ・目標管理制度、職員表彰制度の運用

(事業計画書様式3)

1 利用者サービスの向上・利用促進策

(1)利用者サービス向上の取組

ア 誰もが海に親しみ楽しめるレクリエーションの場の提供

- ・潮干狩りや海水浴を快適に楽しんでもらうためのサービスの提供
- ・様々なスポーツイベントの実施、海とのふれあいセンターの充実

イ 海や緑を身近に感じる環境教育と環境保全の推進

- ・海的环境を学べる各種講座や、海辺の環境を保全する取組、花咲くプロジェクトの実施

ウ 世代を越えて、人と人とを結ぶ場づくり

- ・市民や企業・団体等多様な主体・世代との協働・連携によるイベントの実施
- ・ボランティア活動の支援強化

エ いつでも安全・安心な海の公園の提供

- ・海辺の安全・安心の徹底、津波避難訓練等の災害対策の実施
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策の徹底

(2) 施設運営における市民サービス向上の取組方

- ・園内表示や放送、巡回等による情報提供やマナー啓発、コロナ禍の注意喚起に努め、快適に過ごせる園内環境づくりを実践
- ・ホームページの広聴フォーム、利用者満足度調査（アンケート）等多様なチャンネルで意見を受け止めきめ細やかに対応するとともに、内容に応じ収益還元も行い業務改善を推進
- ・園内表示については、老朽化した看板の計画的な更新やポスター用のボード板設置等、利用者にとってわかりやすく美観に配慮した改善を推進

2 広報・プロモーションの取組

- ・地域催事や小規模イベント、季節の情報等、近隣住民が主なターゲットとなる情報は、Web 等更新しやすいメディアを活用するほか、学校や自治会等と連携し、地域に密着した情報発信を実施
- ・ふれあいセンターで八景島等周辺情報を積極的に掲示するほか、区役所、金沢臨海工業団地のNPO 法人 AozoraFactory と連携し海の魅力を発信する取組を進め、潮干狩りや海水浴のシーズンには横浜シーサイドラインの協力を得ながら効果的な周知策に取り組み等、広域連携による振興PR を推進

3 市民協働・市民主体の活動の支援・地域人材育成

(1) 公園の資源を活用した市民連携イベントの実施

- ・金沢文庫芸術祭、フリーマーケット、海的环境を考える親子講座等を実施
- ・SUP やシーカヤック、ビーチアルティメット等海浜を活かした競技会を実施

(2) 企業・団体等多様な主体・世代との協働

- ・地元地域・企業と連携し、どんど焼き、金沢まつり、潮干狩りワークショップ等を実施
- ・大学等が行うアマモヤアサリの調査研究や、NPO によるアマモ場再生活動に協力するとともに、小中学校の校外学習の機会に環境講座を行う等 SDGs 活動を推進

(3) ボランティア活動の支援強化

- ・ビーチクリーン活動の受け入れを推進
- ・「海の公園ボランティア・デイ」を定期開催し、園内でのボランティア活動を促進

4 災害時の緊急対応

- ・横浜市防災計画等に基づく災害対応マニュアルを整備し、災害の状況に応じた配備体制を構築
- ・防災ヘリコプターの飛行場外離着陸場としての対応
- ・情報受伝達、非常時参集、防災訓練といった各種訓練を実施
- ・区役所、地元委託業者と連携し取りまとめた「海の公園 混雑時における津波避難対策」に基づき、津波避難訓練等を実施
- ・イベントや学校遠足等団体が多数来園する場合には、地震発生時の津波避難方法をまとめたチラシを配布して安全行動を周知
- ・園長が防災士を取得するとともにスタッフ研修を実施し危機管理意識を徹底
- ・災害対応機材を配備

5 安全対策・防犯対策

(1) 安全対策

- ・ライフセーバーによる海面監視、子供用ライフジャケット無料貸出し、海水浴場の水質検査等
- ・AED の設置
- ・気象注意報（光化学スモッグ・高温注意情報）発表時の注意喚起
- ・危険な生物（ハチ、チャドクガ等）の防除、鳥インフルエンザ対応
- ・海の危険生物の注意喚起、カキ殻の除去、アマモの刈込み
- ・巡視・点検の徹底による事件・事故防止
- ・日本ライフセービング協会の認定海水浴場として、海水浴での水難死亡事故ゼロを継続するための海水浴場運営
- ・大型テントの設置や経口補水液の常備等による熱中症対策を実施

(2) 防犯対策

- ・不法行為発生場所の重点的な巡視、暗がりに配慮した樹木剪定
- ・防犯メール登録、「子ども 110 番の家」の登録、「横浜市子ども安全の日」の啓発
- ・緊急通報ボタン設置による時間外通報体制の整備
- ・警備員による夏季の夜間巡回、機械警備の設置

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止

- ・横浜市のガイドラインに基づいた取組を徹底
- ・潮干狩りや海水浴場が休止となる場合は、関係者連携のもと必要な措置・対応を適切に実施

(4) 維持管理作業での対応

- ・複数名による作業の実施
- ・草刈作業は、小石の飛散防止シートでの養生か作業範囲の立入禁止措置の実施
- ・車両での園内走行時は、ハザードランプ点灯と徐行
- ・作業機器取扱い者は、安全衛生教育を受講
- ・安全帯、ヘルメット、ゴーグルなどの安全装備着用の徹底

6 苦情・要望への対応・不法行為対策について

ホームページの広聴フォーム、利用者満足度調査（アンケート）等多様なチャンネルで意見を受け止め、きめ細やかに対応するとともに、海の公園特有の事態への対策も徹底します。

(1) 潮干狩り

- ・金沢警察、八景島等と連携し渋滞対策をとるとともに、警備員を要所に配置し混雑緩和を促進
- ・アサリ巡視や看板設置等により、潮干狩りのルール遵守の呼びかけを実施

(2) アオサ対策

- ・異臭抑制と美観回復のため、漂着したアオサの迅速な回収に努めるとともに、実態調査を実施する等、市と連携したアオサの再利用等の調査・検討の推進

(3) 夜間特別巡視

- ・特に夏季における夜間の不法行為や事故の防止のため、警備員による夜間特別巡視を実施

7 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮

(1) 市内中小企業優先発注

- ・横浜市中小企業振興基本条例に基づき、公園管理に関わる業務について、可能な限り市内中小企業に発注

(2) 日常的な省エネ・環境負荷低減を推進

- ・不要な照明や電子機器類の電源オフ、クールビズ・ウォームビズの推進、ごみの分別とリサイクル、廃棄物の削減、再エネ 100%電力の導入

(3) 維持管理業務における環境負荷低減を推進

- ・フロン排出抑制法に基づく業務用冷凍空調機器等の点検、漏えい防止措置の徹底

(4) 施設の長寿命化に向けた取組みを推進

- ・日常巡視や定期点検により設備の劣化状況を把握し、予防保全と計画的な修繕を実施

(5) SDGs に資する取組の推進

- ・横浜市温暖化対策統括本部が実施するアマモ場の面積および質重量調査へ協力
- ・大学等が行うアマモアサリの調査研究や、NPO によるアマモ場再生活動に協力するとともに、小中学校の校外学習の機会に環境講座を実施
- ・海の公園の自然環境をテーマにした「海の環境を考える親子講座」の開催
- ・ふれあいセンターに海ゴミ啓発の展示

8 個人情報保護・情報公開・人権尊重・障害者差別解消

(1) 個人情報保護・情報公開

- ・個人情報保護は、当団体の個人情報保護方針、個人情報保護規程に基づき管理
- ・情報公開は、情報の公開に関する規程に基づき対応
- ・個人情報保護研修を実施

(2) 人権尊重・障害者差別解消

- ・人権啓発研修（障害者差別解消も取り扱う）を実施
- ・カラーバリアフリーやウェブアクセシビリティについての教育を実施

- ・筆談ボードの配備、車いす（水陸両用含む）の貸出し、補助犬の受入れ等を実施

（事業計画書様式4）

1 公園の維持管理の基本方針

(1) 海辺ゾーン

- ・砂浜や海底の危険物の除去、水際に漂着するアオサの処分等、安全・快適な利用環境を提供
- ・アサリの生息調査等海辺の環境保全の取組の推進

(2) 園路・広場ゾーン

- ・クロマツの適切な剪定や病虫害対策により「白砂青松」を保全するとともに、園路の清掃や補修、イベントに合わせた草刈等、美観の維持と安全性の確保の実施

(3) スポーツ施設ゾーン

- ・利用者の多いなぎさ広場において、グラウンドの芝を常に良好な状態を保つよう丁寧な管理を行い、快適な利用環境を提供

2 公園施設・設備の維持管理

(1) 管理センター、なぎさ管理棟、柴口・南口休憩所

- ・日常点検・定期点検のほかに、年1回、施設管理者点検マニュアルに沿って点検を行い、不具合は速やかに対応

(2) なぎさ広場グラウンド

- ・夏季・冬季に養生期間を設け、必要に応じ補植や施肥、芝刈を行い、芝生を良好な状態に保持

(3) 遊具

- ・市基準に基づく日常点検・定期点検に加え、独自に月1回の定期点検を実施

(4) 水飲み場、足洗い場

- ・巡視・点検時に、本体や蛇口の破損やガラス・金属片等の危険物を除去
- ・砂が堆積しやすい枡は定期的に砂を除去

(5) 手すり、鉄柵、支柱

- ・年4回、触診や打診による定期点検を実施

(6) 園地管理

- ・定期点検は、市公園施設点検マニュアルに基づき年3回の通常点検、年1回の詳細点検を行うほか、独自に作成したチェックシートを基に、月1回の点検を実施
- ・警報発表時や他の類似施設における事故が報告された際は臨時点検を実施し、結果を速やかに市へ報告

3 公園施設・設備の修繕計画

- ・設備や遊具等は、定期点検や精密点検を活用し、施設の健全度・劣化状況を把握
- ・把握した内容に基づいて優先度を評価し、予防的修繕を実施することで長寿命化を推進
- ・ベンチや園路等は、日常巡視・点検等により異常を把握し、利用者の安全確保を最優先に、異常箇所の修繕を随時実施（老朽化施設は市と協議し、更新）

4 樹木・植栽等の管理

- ・松は樹形や枝ぶりに配慮し整姿剪定を行い、特に松林の広がりや松越しの景観を楽しめるよう視線を遮る下枝や込み入った枝の除去を優先的に実施し、白砂青松を保全
- ・病虫害によるマツ枯れ、ナラ枯れ対策を適切に措置
- ・マツ枯れによる伐採の続いた艇庫横の草地広場や台風により複数倒木した BBQ 場の一部エリアは木陰を失った空間となっているため、植樹計画を立案し市と協議を進め魅力ある緑の景観復元に向け対応
- ・ボランティアとの協働により季節の彩りを演出する花壇づくりを実施
- ・草地広場は区民まつり等の多くのイベントに利用されるため、快適に利用できるよう、イベント前を中心に草刈を実施
- ・海中のアマモ場は、海水浴場の安全な運営との両立を図るため、海水浴場開設前にアマモの一部刈込みを実施

5 巡視・清掃

- ・年末年始を除き、水準書の「臨時巡視」ルートも含め毎日実施し、あわせてごみ拾い等の簡易清掃を実施
- ・特別巡視を気象警報解除後、震度 5 弱以上の地震発生時に実施
- ・海辺は、日常巡視時に危険物を撤去し、漂着したアオサはその都度迅速に回収・処分
- ・漂着物が堆積しやすいタイドプールは景観に配慮し定期的に清掃
- ・ベンチ・テーブル、手すり等の工作物は汚れに特に注意し清掃
- ・トイレは毎日 1 回を基本とし、利用者の多い日は回数を増やし清掃を実施

(事業計画書様式 5)

無料事業実施計画一覧 (自主事業含む)

事業名	内容 (募集人数等)	新規	実施時期	回数
潮干狩りでのサービス	水陸両用車いすの貸出/潮干狩りグッズ販売/警備員によるアサリ巡視/干潮時刻表の情報提供/仮設トイレ、迷子案内所の設置/貝毒検査・渋滞対策/救護所への看護師の配置 (土日のみ)		4~6 月、 3 月	随時
潮干狩りワークショップ	横浜シーサイドラインとの共催により、潮干狩りのルールやノウハウを学ぶワークショップを開催		6 月	1
海水浴でのサービス	休憩テント、無料シャワー、迷子案内所、更衣室の設置/海水浴グッズ販売/水陸両用車いすの貸出		7、8 月	随時
ウインドサーフィン艇庫内の暖かスペースの設置	オイルヒーターやカーテンで暖かさを提供するスペースを設置		12~3 月	随時

キッチンカーの出店	混雑日にキッチンカーを出店し、軽飲食を販売	4～8月	随時
季節の催事	金沢文庫芸術祭(秋)やどんど焼き(冬)、金沢まつり花火大会等季節の催事を開催	通年	通年
ビーチスポーツフェスタ	ビーチバレー、ビーチハンド、ビーチテニス、ビーチサッカーの競技会を横浜市スポーツ協会と連携して開催	8月	1
なぎさ広場カップサッカー大会	なぎさ広場で市内少年サッカーチームと日本在住外国人少年サッカーチームの交流大会を大会実行委員会と共催	12～3月	2
金沢区ロードレース大会	50回目を迎えるレースを安全円滑に実施できるよう、大会実行委員として各団体と協力開催	2月	1
ターゲットバードゴルフ大会	横浜ターゲットバードゴルフ協会と連携して、シニア向け大会を開催	12～2月	3
ビーチバレー大会	ビーチバレーの普及に貢献するため、横浜ビーチバレー連盟と協力開催	通年	10以上
海とのふれあいセンター休憩スペースの充実	キッズスペース等家族みんなで楽しめるくつろぎ空間を演出	通年	通年
海とのふれあいセンター観光情報スペース設置	海の公園の情報に加え、近隣施設を紹介	通年	通年
海とのふれあいセンター学習の場の提供	図書コーナーの設置や海の公園に生息する生き物を紹介	通年	通年
海とのふれあいセンター子育て支援	授乳やおむつ替えのスペースを設置し、ミルクを作るお湯を提供	通年	通年
海とのふれあいセンターまつりの開催	海の公園のPRと海への関心を高めてもらう体験イベントを実施	8月	1
ビーチクリーン活動の支援	ボランティア活動や企業CSR活動による砂浜清掃の際に用具類の貸出し等支援	通年	随時
アマモ場再生活動の実施	アマモ場の保全活動の一環として、企業や市民によるアマモ花枝採取を実施	6月	2
アサリの生息調査	アサリの状況・分布等を把握する定点観測調査を実施	毎月	12
ブルーカーボン事業への協力	市のブルーカーボン事業に協力するとともに、調査内容を市民に公開する場所を提供	通年	随時
花の演出(海の公園花咲くプロジェクト)	ガーデンネックレス横浜に賛同し、海の公園においても季節ごとの花を植栽	通年	随時
海水浴期間中の安全・安心の徹底	ライフセーバー配備/ライフジャケットの無料貸出/巡視用ジェットスキー、IRB(救助用ボート)の配備/迷子案内所、警察官立寄所の設置/	7,8月	随時

	救護所への看護師配置/近隣病院への協力要請/ 日本ライフセービング協会認定海水浴場として 開設/消防署と連携した水難救助訓練の実施			
海への理解を深めるため の子供向けの取組	ライフセーバーによる子供向け「海の安全教 室」、小学生向け「ライフセービング教室」を実施	8月	1	
夏の夜間特別巡視	警備員による特別巡視を実施	7、8月	随時	
海の危険生物対策	海の危険生物に関する危険性や対処法等の情報 提供、注意喚起	通年	随時	
定期的な水質検査	定期的な水質検査によるモニタリングを実施	7、8月	随時	
AEDの設置	管理センター、なぎさ広場管理棟、柴口・南口 案内所、バーベキュー場受付にAEDを設置	通年	通年	
上級救命講習修了者の配 置	副園長は上級救命講習を、他のスタッフは普通 救命講習を修了	通年	通年	
津波避難訓練の実施	金沢区及び艇庫利用者等と連携して市民参加型 の津波避難訓練を実施	9月	1	
防災士の配置	園長が防災士を取得し、スタッフに研修を実施	通年	通年	
ホームページ・ブログ・ SNS	スポーツイベント、潮干狩りや海水浴場等の最 新情報を提供	通年	通年	
当団体独自の広報誌への 掲載	年間約6万部を発行する季刊誌「みどり」への 掲載	4、7、10、1 月	4	
公園リーフレットの配布	施設概要やアクセス等を掲載したリーフレット を配布	通年	随時	
海の公園「海中探検」の 実施	金沢区、NPO法人AozoraFactoryとの共催で、 水中ドローンのリアルタイム映像で海中の生き もの観察を実施	10月	1	
海の公園ボランティア DAY	花植え、種まき、草取りのボランティア活動の 場を提供	4～7月、 9～12月	8	
愛犬マナー教室	犬のマナー向上やトラブル防止策として、基本 的なしつけ教室を実施	11月	1	
海の公園水中環境調査	年間を通じ海域の水中画像を撮影し、アマモや アオサ等水中環境の実態を調査	○ 隔月	6	
園内サイン計画	既存の案内表示の状況を踏まえ、計画的に更新 するサイン計画を策定	○ 9～3月	1	
RUN・SUP・YOGAの開催	海開きのプレイベントとして、ラン、スタン ドアップパドルボード、ヨガの3種目を楽しむイ ベントを開催	7月	1	
アウトドアイベントの開 催	オープンエアでの様々な楽しみ方を紹介し体験 できるイベントを開催	○ 5月	1	

ドッグランイベントの実施	愛犬が集いドッグランを体験できる場でマナー啓発を図るイベントを開催	○	12月	1
--------------	-----------------------------------	---	-----	---

有料事業実施計画一覧（自主事業含む）

事業名	内容 (募集人数・一人当たりの参加費)	新規	実施月	回数	自主事業予算額(円)	
					自主事業費	自主事業収入
海の環境を考える親子講座	海の環境を親子で学べる講座を毎回異なるテーマで実施(クラフトのワークショップや食育講座を含む)		通年	10	474,400	47,000
横浜FCサッカー教室	横浜FCと共催でジュニアサッカースクールを開催		通年	40	0	280,800
フリーマーケットの開催	地域交流とリサイクル推進のためリサイクル運動市民の会と共催		通年	24	0	94,000
なぎさ広場団体貸切利用	海の公園指定管理特記仕様書に基づいた、なぎさ広場団体貸切利用		4~6月 8~12月	67	0	1,188,200
合計					474,400	1,610,000

(事業計画書様式6)

業務の第三者委託一覧

業務	内容	委託会社	年回数	実施月	備考
自家用電気設備保安	自家用電気設備保安 ①月次点検②年次点検	R3年度中に入札	①12 ②1	①毎月 ②未定	
受水槽点検清掃	法令等に基づく点検清掃等 ①点検清掃②水質検査 ③定期検査	R4年度中に見積合わせ	①1 ②1 ③1	①未定 ②未定 ③未定	
公園維持管理	公園維持管理	横浜市グリーン事業協同組合	通年	通年	
公園警備	公園警備	横浜シーサイド協同組合	通年	通年	
大型車輛年次点検	大型車輛年次点検	(株)クボタ	1	2月	
海水浴場施設設置	海水浴場施設設置・撤去	(株)芳垣建設	1	4~9月	
海水浴場総合案内看板設置	海水浴場総合案内看板設置・撤去	R4年度中に見積合わせ	1	7,9月	
海水浴場水質検査	海水浴場水質検査 ①定期検査②緊急検査	R4年度中に見積合わせ	①5 ②3	7,8月	

海水浴場施設リモートマイク取付	海水浴場施設リモートマイク取付・撤去	R4 年度中に見積合わせ	1	4～9 月	
なぎさ広場衛生設備法保守点検	なぎさ広場衛生設備法保守点検	R4 年度中に見積合わせ	1	6 月	
給水ポンプ設備保守点検	給水ポンプ設備保守点検	(株)荏原製作所	2	7、2 月	
エレベーター設備保守点検	エレベーター設備保守点検	(株)日本ビルテクノス	12	毎月	
電話設備保守点検	電話設備保守点検	R3 年度中に見積合わせ	6	奇数月	
放送設備保守点検	放送設備保守点検	R4 年度中に見積合わせ	1	1 月	
空調設備等保守点検	空調設備等保守点検	R3 年度中に見積合わせ	2	5、11 月	
シャッター設備保守点検	シャッター設備保守点検	R4 年度中に見積合わせ	1	1 月	
消防設備保守点検	法令に基づく定期点検 ①機器点検②総合点検	R4 年度中に見積合わせ	①2 ②1	① 9、3 月 ②3 月	
自動ドア保守点検	自動ドア保守点検	(株)神奈川ナブコ	3	4、8、12 月	
機械警備	機械警備	R3 年度中に見積合わせ	通年	通年	
なぎさ広場避雷針設備点検	なぎさ広場避雷針設備点検	R4 年度中に見積合わせ	1	5 月	
潮干狩り案内看板更新	潮干狩り案内看板更新	R4 年度中に見積合わせ	1	未定	
海水浴場ポスターデザイン委託	海水浴場ポスターデザイン	(株)精美堂	1	6 月	
海開き式設営	海開き式設営・撤去	R4 年度中に見積合わせ	1	7 月	
自家発電設備点検	自家発電設備点検	R4 年度中に見積合わせ	1	未定	
園内灯設備及び夜間照明施設保守点検	園内灯設備及び夜間照明施設保守点検 ①巡視点検②部品交換	R3 年度中に見積合わせ	①1 ②随時	① 4～6 月 ②通年	

(事業計画書様式7)
収支予算書 (指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	232,984,000	0	232,984,000	0	232,984,000	
利用料金収入	50,000	0	50,000	0	50,000	
自主事業収入	1,610,000	0	1,610,000	0	1,610,000	
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計	234,644,000	0	234,644,000	0	234,644,000	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	17,028,000	0	17,028,000	0	17,028,000	
給与・賃金	13,800,000	0	13,800,000	0	13,800,000	
社会保険料	2,143,000	0	2,143,000	0	2,143,000	
通勤手当	1,005,000	0	1,005,000	0	1,005,000	
健康診断費	80,000	0	80,000	0	80,000	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	3,781,000	0	3,781,000	0	3,781,000	
旅費	106,000	0	106,000	0	106,000	
消耗品費	2,547,000	0	2,547,000	0	2,547,000	
会議ठी費	277,000	0	277,000	0	277,000	
印刷製本費	71,000	0	71,000	0	71,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	0	0	0	0	0	
備品購入費	100,000	0	100,000	0	100,000	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設責任賠償保険	171,000	0	171,000	0	171,000	
職員等研修費	0	0	0	0	0	
搬込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	478,000	0	478,000	0	478,000	
手数料	31,000	0	31,000	0	31,000	
地域協力費	0	0	0	0	0	
自主事業費	1,550,000	0	1,550,000	0	1,550,000	
管理費総合計	22,359,000	0	22,359,000	0	22,359,000	人件費、事務費、自主事業費の合算
光熱水費合計	32,697,000	0	32,697,000	0	32,697,000	
光熱水費(電気)	10,188,000	0	10,188,000	0	10,188,000	
光熱水費(ガス)	64,000	0	64,000	0	64,000	
光熱水費(水道)	11,073,000	0	11,073,000	0	11,073,000	
光熱水費(下水道)	11,372,000	0	11,372,000	0	11,372,000	
清掃費	230,000	0	230,000	0	230,000	うち委託料 230000円(予算)
繕繕費	8,800,000	0	8,800,000	0	8,800,000	
機械管備費	0	0	0	0	0	うち委託料 0円(予算)
施設保全費	167,250,000	0	167,250,000	0	167,250,000	
空調衛生設備保守	1,288,000	0	1,288,000	0	1,288,000	うち委託料 1288000円(予算)
消防設備保守	500,000	0	500,000	0	500,000	うち委託料 500000円(予算)
電気設備保守	3,022,000	0	3,022,000	0	3,022,000	うち委託料 3022000円(予算)
害虫駆除清掃保守	0	0	0	0	0	うち委託料 0円(予算)
その他保全費・園地管理	162,440,000	0	162,440,000	0	162,440,000	うち委託料 161351000円(予算)
共益費(合築等の場合)	0	0	0	0	0	
公租公課	2,095,000	0	2,095,000	0	2,095,000	
公租公課(事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課(消費税)	2,023,000	0	2,023,000	0	2,023,000	
公租公課(印紙税)	21,000	0	21,000	0	21,000	
その他公租公課	51,000	0	51,000	0	51,000	
事務経費	100,000	0	100,000	0	100,000	
事務経費(本部分)	100,000	0	100,000	0	100,000	
事務経費(当該施設分)	0	0	0	0	0	
その他経費(当該施設分)	1,113,000	0	1,113,000	0	1,113,000	
支出合計	234,644,000	0	234,644,000	0	234,644,000	
差額	0	0	0	0	0	

(参考) 指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計	145,347,000	0	145,347,000	488,600	144,878,400
設置管理許可支出合計	113,906,000	0	113,906,000	0	113,906,000
差額	31,441,000	0	31,441,000	488,600	30,972,400

今年度の収支計画

- ・ 各種有料事業の実施による自主事業収入の確保
- ・ 消耗品費の経費削減 昨年度予算より 50 万円以上減

・修繕費の経費削減 昨年度予算より 100 万円以上減

(事業計画書様式 8)

運営目標

項 目	取組み内容及び具体的な数値目標
業務運営 1 (様式 2: 運営業務 の実施計画・取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度アンケートの実施 1 回 ・アンケートの総合満足度の満足の割合 6 割以上
業務運営 2 (様式 2: 管理運営体 制、人員の配置と 研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画した人員の配置 ・研修・講習の実施 利用者対応、管理運営に関する研修 6 件以上 園地管理に関する研修 3 件以上 管理職研修 4 件以上
業務運営 3 (様式 3: 利用者 サービスの向上・ 利用促進策)	<p>(1) 誰もが海に親しみ楽しめるレクリエーションの場の提供 18 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水陸両用車いす (7 台) の貸出、警備員 (2 名) による「アサリ巡視」等による潮干狩りでのサービスの提供 ・無料シャワー・更衣室 (2 か所)、迷子案内所の設置等による海水浴場でのサービスの提供 ・ビーチスポーツフェスタ (年 1 回)、なぎさ広場カップサッカー大会 (年 2 回) 等スポーツイベントの開催 ・休憩スペース、観光スペースの充実やセンターまつり (年 1 回) 開催による「海とのふれあいセンター」の活用促進ほか <p>(2) 海や緑を身近に感じる環境教育と環境保全の推進 9 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の環境を考える親子講座 (年 10 回) 開催 ・アサリの生息調査 (月 1 回) や市のブルーカーボン事業への協力 (随時) ・ふれあいセンターへの花の展示 (随時) や駅前空間への植花 (随時) ・金沢区、NPO 法人 AozoraFactory との共催による「海中探検」(年 1 回) の実施ほか <p>(3) 世代を越えて、人と人とを結ぶ場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動 70 回以上 ・金沢文庫芸術祭に合わせたサンドアートフェスティバル (年 1 回)、フリーマーケット (年 24 回) 等市民連携イベントの開催ほか <p>(4) いつでも安全・安心な海の公園の提供 9 事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフセーバーの常駐 (10~15 名) 等による海水浴期間中の安全対策 ・区役所・園内委託業者と連携した津波避難訓練 (年 1 回) の実施
業務運営 4 (様式 3: 広報・プ ロモーションの取	<ul style="list-style-type: none"> ・ブログの発信 (更新随時) ・横浜金沢観光協会「よこかな」掲載 年 4 回 ・当団体の季刊誌への情報掲載 年 4 回

組)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいセンターで八景島等周辺情報発信（随時更新）
業務運営 5 （様式 3：市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成）	(1) 公園の資源を活用した市民連携イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・金沢文庫芸術祭（年 1 回）の開催 ・SUPMEET（年 4 回）やシーカヤック大会（年 1 回）等競技会開催 (2) 企業・団体等多様な主体・世代との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・どんど焼き（年 1 回）、金沢まつり花火大会（年 1 回）等地域イベントの開催 ・大学等が行うアマモやアサリの調査研究（随時）、NPO によるアマモ場再生活動（年 2 回）への協力 (3) ボランティア活動の支援強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア DAY（年 8 回）開催、ビーチクリーン活動の支援（随時）
業務運営 6 （様式 3：本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮）	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の校外学習の機会に環境講座を実施（随時） ・ふれあいセンターに海ゴミ啓発の展示（通年） ・再エネ 100%電力の導入
業務運営 7 （様式 4：公園の魅力をもつ施設保全・管理）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働による花壇づくり等を実施し、園内を季節に合わせた花で演出（1 件） ・漂着したアオサの回収・処分（随時） ・クロマツの適切な剪定や病虫害対策による「白砂青松」の保全
業務運営 8 （様式 4：施設（建物等）、設備の維持管理、修繕計画）	<ul style="list-style-type: none"> ・日常点検（359 回）・定期点検（通常 3 回/詳細 1 回）の実施。不具合等には速やかに対応 ・年 2 回（夏季・冬季）養生期間を設け、必要に応じ補植や施肥、芝刈を行い、芝生を良好な状態に保持 ・遊具は独自に月 1 回の定期点検を実施 ・園地は独自に作成したチェックシートを基に、月 1 回の点検を実施 ・砂が堆積しやすい柵の定期的な砂の除去を実施 <ul style="list-style-type: none"> ①水飲み柵（5 基/年 12 回） ②集水柵（367 か所/1.5 回）、 ③側溝（600m/年 1.5 回） ④足洗い場（11 基/年 4.5 回）
業務運営 9 （様式 4：樹木、植栽等の管理）	<ul style="list-style-type: none"> ・艇庫横の草地広場や、BBQ 場の一部エリアの景観復元を目指す（1 件実施） ・海水浴場開設前にアマモの一部刈込みを実施（1 件実施）
業務運営 10 （様式 4：巡視・清掃）	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始を除き、水準書の「臨時巡視」ルートも含め毎日実施し、あわせてごみ拾い等の簡易清掃を実施
収支 （様式 7：収入確保、経費節減策）	<ul style="list-style-type: none"> ・各種有料事業の実施による自主事業収入の確保 ・消耗品費の経費削減 昨年度予算より 50 万円以上減 ・修繕費の経費削減 昨年度予算より 100 万円以上減

